

## 「地震被害想定調査」に係る津波関連データの提供について

平成24年12月28日  
総務部 総合防災課

### 1 趣旨

県では、学識経験者等からなる「地震被害想定調査委員会」の助言を得ながら、「地震被害想定調査」を実施している（調査期間：平成24年4月～25年6月）。

このたび、その成果の一部として、市町村が「津波ハザードマップ」の見直し等を行うために必要なデータ（別添資料）を提供し、避難所や避難場所、避難路の再検討などに活用していただくこととする。

### 2 想定地震

別紙のとおり。

### 3 留意事項

- (1) 津波浸水想定等は、仮に想定地震により津波が発生した場合、どの程度の浸水域や浸水深、津波高等となるかを示したものである。
- (2) 東日本大震災が連動地震であったことを踏まえ、最大クラスの津波を想定するため、連動地震を設定したものである。
- (3) 秋田県沖で歴史上確認された最大の地震は、日本海中部地震（M7.7）であり、今回想定した最大クラスの地震・津波が発生する可能性は極めて低いものと考えられる。
- (4) 津波浸水想定等の結果を過度に心配するのではなく、避難場所、避難路の確認や、避難訓練への参加など、地道な対策が極めて重要である。

なお、今後取りまとめる「地震被害想定調査」の結果を踏まえ、地域防災計画の見直しの中で、市町村等と連携・協力し、様々な対策を幅広く検討していく。

## 想定地震（海域）

### 1 単独地震

過去に発生した地震及び国の「地震調査研究推進本部」の調査により、今後発生すると予測される地震に基づき設定した。

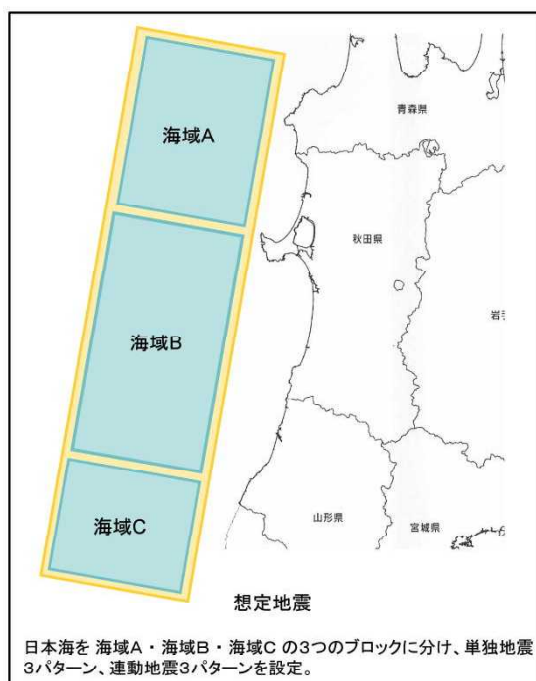
区分	規模	モデル等
海域 A	M7.9 程度	日本海中部地震（M7.7）等を参考
海域 B	M7.9 程度	佐渡島北方沖、秋田県沖、山形県沖の地震を想定
海域 C	M7.5 程度	新潟県北部沖、山形県沖の地震を想定

### 2 連動地震

東日本大震災が連動地震であったことを踏まえ、最大クラスの津波を想定するため、連動地震を設定した。

区分	規模
海域 A+B	M8.5 程度
海域 B+C	M8.3 程度
海域 A+B+C	M8.7 程度

### 3 位置図



## 参考1 用語

### ・浸水域

海岸線から陸域に、津波が遡上することが想定される区域。

### ・浸水深

陸上の各地点で、水面が最も高い位置に来たときの、地面から水面までの高さ。

### ・津波高

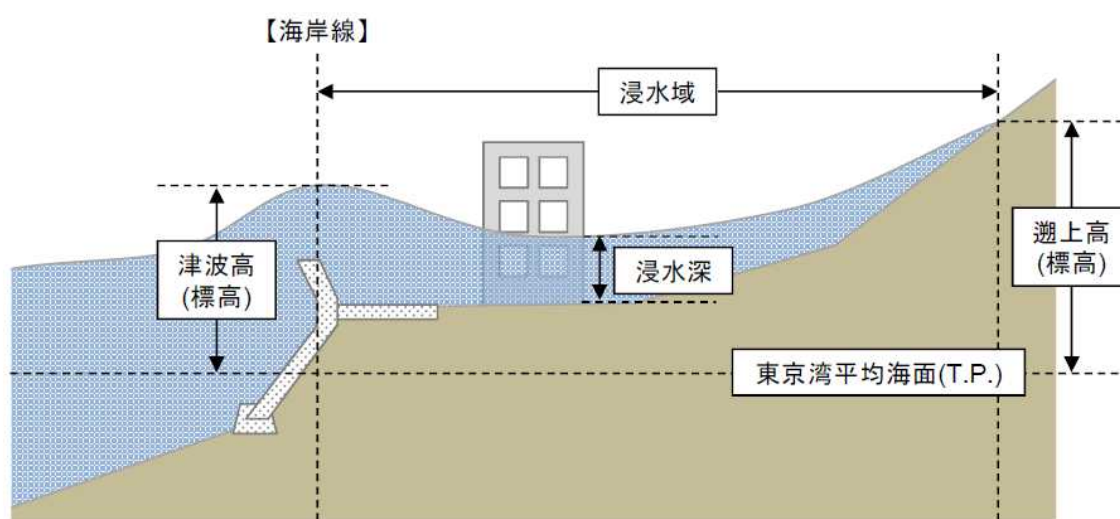
津波により上昇した、海岸線での海面の高さ。

### ・遡上高

津波が、海岸線から陸域に遡上した場合の、遡上した地点の標高。

### ・東京湾平均海面

全国の標高の基準となる海面の高さ。



## 参考2 日本海中部地震（昭和58年5月26日）について

- ・秋田県沖で歴史上確認された最大の地震である。
- ・今回の津波シミュレーションでは、単独地震の海域Aの参考としている。

震源	秋田・青森県境沖※
マグニチュード	M7.7
最大震度	震度5
県内死者数	83名（津波により79名）

※ 気象庁技術報告第106号（昭和59年3月）による。